

津幡南中だより

校訓

☆燃えるような情熱

☆ひたむきな純粋さ

☆たゆみない向上心



「 結果とプロセス 」 校長 田中 宏志

10月は行事の多い月でした。

一番大きな行事は、「forever grow ~今しかないひとときを~」をテーマに行われた学校祭です。初日は合唱コンクールが行われました。今年の合唱コンクールは、どの学年もレベルが高く、これまでの練習の成果と各学級の絆を感じる素敵なコンクールとなりました。2日目は、最初に美術部の書道パフォーマンスがピロティで行われました。続いて、執行部のオープニングでのテーマ劇、吹奏楽部の演奏、各学年の発表、など様々な取組が行われました。



この日に向けて、みなさんは仲間と協力しながら準備を進めてきました。時には悶々とした気持ちになりながらも、より良きものを創ろうと、校舎に響く歌声で合唱練習にのぞんだり、各学年の取り組みに一生懸命に汗を流したり姿を見ることができました。その姿を見て、改めて、行事で学ぶことの大切さを感じることができました。



さて、学校という場に限らず、何かに取り組むときには、結果が求められます。しかし、結果と同じくらいプロセスが大切だと思っています。結果は確かに人に自信を付け、歓喜をもたらしてくれます。その一方で、結果は人を惑わしたり陥れたりもします。このことについて、元プロ野球監督 故 野村 克也 氏が次のようにコメントしています。



投手が打たれても、打者が三振しても、結果論でモノを言わないことを心掛けてきた。結果に至るまでのプロセスを重視し、その方向性が間違っていなければかまわない。しっかりととした根拠があり、正しい努力をしているか。そちらの方が大切で、きちんとしたプロセスを踏めば、良い結果を出し続けることができる。（野村監督公式名言集より引用）



野村 克也 氏のコメントには、共感できるものがあります。プロセス段階で準備不足であったり、多少考え方や取組が甘かったりしたときでも、何かしらの結果が出てしまうことがあります。学校では、津幡南中学校のみなさんが何かに取り組むときは、そのプロセスの中で、みなさんがどのような力を付けていくのかも、結果と同じように大切にしています。今年の合唱コンクールや学校祭が大成功に終わったのは、津幡南中学校のみなさんがプロセスを大切にしてくれたからだと思っています。これらの取組の中で、みなさんはきっと何かをつかみ、当日の結果から大きな達成感を感じ、次につながる何かを得てくれたと思っています。そこで得たものを大切にし、「自分探しの旅」の次へのステップに進んでいって欲しいと、強く願っています。

★生徒指導より 生徒の皆さんへ★

11月の生活目標

1学期のTPOを越える

TPOを意識した生活をしよう

時 場所 場面
<T・P・O>

その場にふさわしい行動

これまで準備をしてきた発表者のために、ともに頑張ってきた仲間のために、舞台に立つ側も、観る側も、お互いを尊重し合う素敵な姿が見えました。学校祭でのその姿勢、ぜひこれからも学校生活にも生かしていきましょう。いつでも、どこでも、誰に対しても、リスペクトの気持ちを忘れずに過ごすことができるといいですね。

スタートから集中した環境をつくりましょう

寒くなる時期、布団から出辛い時期がやってきました。

それでも、**8時00分のカリオンに間に合う**ように頑張りましょう。

⇒起床時間、就寝時間を決めて生活を行いましょう。

★学習指導より★

◇11月の学習目標◇

積極的に表現し、授業をもりあげよう！

話す 自分の意見を進んで発表しよう **聞く** 話す人の方を向いて聴こう

1. 主体的に授業に参加することが学力向上につながる！

11月は、学級の仲間みんなで「授業の活性化」に努めましょう。一人ひとりが主体的に授業に参加することで、授業内容が記憶に残って覚えられたり、理解が深まったりします。主体的に授業に参加するということは、自分で考えて取り組むことにつながり、効率的な学習が可能となります。期末テストに向けて、積極的に授業に参加していきましょう。

主体的に授業に参加しよう！

「言わされたことをする」だけではなく、
「自分で考えて取り組む」！
意識的に聞き、積極的に発言する
→どこが自分と同じ・似ている・違う考え方か？自分ならどう答える？
どこまで理解したか自分で問いかけて確かめる
例) 公式は覚えた？→演習で公式は使える？→応用問題は解ける？

2. 期末テストに向けて、学習計画をつくろう！

テストに向けて学習計画を立てる上で大切なのは、お手本のような「理想の計画」ではなく、自身が実行することのできる「確実な計画」にすることです。いつまでに【時間】何を【質】どれだけ【量】行うかを自分の力量に合わせて計画する必要があります。

ただやみくもにハードワークをこなすのではなく、自分が着実に実行できる計画を立ててテスト勉強に取り組みましょう。

期末テストに向けて

いつまでに 時間
何を 質
どれだけ 量
一生懸命頑張れば実行できそうな
×「理想の計画」
無理なく実行できる
○「確実な計画」

自分に合った学習計画を作成しよう！